

# 建設ICT導入普及研究会

## 今後の活動方針

建設ICT導入普及研究会

# ○技術普及チーム 今後の取り組み

## 1. 現場見学会の開催(継続)

- 開催場所:愛知・三重・岐阜・静岡・長野 各1回
- 開催時期:平成27年5月頃より順次開始
- 対象者:研究会会員、国土交通省職員、地方自治体職員／地元建設業

## 2. 施工報告会の開催(継続)

- 開催場所:名古屋市内
- 開催日時:平成27年8月頃
- 報告内容:ICT技術活用者による施工体験(メリット・デメリット)  
(情報化施工工事、CIM試行工事、CIM試行業務)
- 対象者:研究会会員、国土交通省職員、地方自治体職員／地元建設業

## 3. 大学生を対象とした出前授業(継続)

- 次世代**の建設業を担う大学生を対象に情報化施工を理解してもらう。
- 日本建設機械施工協会中部支部との共催

## 4. 情報化施工に**有用な施工規模の算出**(継続)

- 施工実態及び簡易アンケート調査等により**最適な施工規模を算出**
- 結果については**施工報告会、総会、総合サイト等にて**公表**

# ○現場支援チーム 今後の取り組み

## 方針

建設ICTに精通した技術者を育成するため、平成26年度に続き座学及び**実機を用いた実習**を行う

## 技術者育成のメニュー

- ① 職員の技術力向上のため、建設ICT講習会を実施
- ② **内部講師**（中部技術職員）**養成**のため、講習会を実施
- ③ 中部技術事務所で実施する研修の一コマとして建設ICT講習を実施

## 講習会の内容

【中部技術事務所において、座学と実機を用いた実習の講習会を開催】

- 講師は、職員及び民間講師
- 導入普及研究会会員にご協力を頂き、実機を用いた実習を実施
- 講習会の講義メニュー
  - ・講習会の講義メニューは、建設ICTの使用原則化の進捗状況を踏まえ検討  
なお、下記メニューは引き続き実施
  - ・TSによる出来形管理技術及び監督検査方法（座学・実技）
  - ・研修の対象者  
平成26年度受講は、検査官：13%、監督員クラス：57%、その他：30%  
平成27年度も引き続き監督職員を中心とした役職を対象に開催を予定

# ○技術研究チーム 今後の取り組み

## CIM試行工事・試行業務(継続)

○対象:平成26年度・平成27年度工事・業務

○国土交通省方針である調査・設計・施工・維持管理において(3次元モデルでの)次のステップに引き継ぐ情報が活用できるかの試行検証を順次進めていく。

今後、中部地整においては、次の段階で必要な情報の伝達を想定し、有用性を確認しながら3次元モデルで、次の項目について試行を継続する。

- ・建設生産プロセスの各段階(調査、設計、施工、維持管理)に必要な**モデル構築の精度向上**
  - ・各段階で**付与すべき属性情報の検討**
  - ・各段階間の**データ受渡しに関する課題**と対応
  - ・受発注者間の**データ共有に関する課題**と対応等
- ・**今後とも、CIM等の動向について情報提供を適宜行っていく**